

地域による地域のための
 ポータルサイトも
 チェック▶



Tsunagaru かわちながの



菊水産業株式会社
 日野1100 (☎54-1630)
 ホームページはこちらから▶



まちを一緒に盛りあげよう



Report 12

地場のつまようじで 新しい風を 菊水産業株式会社 末延さん

昭和35年創業の菊水産業株式会社は、つまようじ・黒文字楊枝の製造販売、箸や竹串などの日用品の販売を行ってあります。末延さんの曾祖父が創業した当時、和菓子を食べる時に使われる高級つまようじの「黒文字楊枝」事業者が大小合わせて市内に50件程度ありました。その後、安い外国製の製品が増え、徐々に事業者の数も減っていきます。幼少期から祖父母宅でつまようじに触れてきた末延さん。デザインの仕事をしながらも、ものづくりへの関心から同社に関わります。「国産の黒文字楊枝を復活させたい」という祖父の願いや地場産業を守るため、黒文字の原木を求め、市内や全国を奔走。補助金などを活用して「純国産黒文字ようじ」を商品化し、今では京都

やフランスの和菓子店でも使われる看板商品となりました。コロナ禍の影響で飲食問屋や百貨店などへの出荷が減り売り上げが減少していたころ、ニュースでエレベーターのボタンに直接触れないよう、つまようじで押しているのを見かけます。これは見逃せないと思い、持ち前の行動力で先が平らな「非接触棒」を製作。SNSで発表すると、瞬く間に話題となり、数多くのメディアでも紹介されました。また、末延さんは地場産業のつまようじ業界を盛り上げるため、組合を作り共同代表を務めるなど精力的に活動しています。「今後は、黒文字を使い地域や企業と連携しユーザーに喜んでもらえるような商品を提供していきたいです」と笑顔で語ってくれました。



①黒文字楊枝の仕上げは今も手作業 ②香りの良い黒文字の原木 ③外装にもこだわ「純国産黒文字ようじ」は優れた製品を世界に広める「おもてなしセレクション」を受賞 ④昔ながらの機械は今も現役 ⑤黒文字楊枝を削り出す祖父の場工さん

